

201451028A

厚生労働科学研究委託費
医薬品等規制調和・評価研究事業

医薬品等のベネフィット・リスク評価のための
医療情報データベースシステムの品質管理及び標準化手法に
関する研究

平成26年度 委託業務成果報告書

業務主任者 鈴木 隆弘

平成27（2015）年 3月

厚生労働科学研究委託費
医薬品等規制調和・評価研究事業

医薬品等のベネフィット・リスク評価のための
医療情報データベースシステムの品質管理及び標準化手法に
関する研究

平成26年度 委託業務成果報告書

業務主任者 鈴木 隆弘

平成27（2015）年 3月

本報告書は、厚生労働科学研究委託事業（医薬品等規制調和・評価研究事業）による委託業務として、国立大学法人千葉大学が実施した平成26年度「医薬品等のベネフィット・リスク評価のための医療情報データベースシステムの品質管理及び標準化手法に関する研究」の成果を取りまとめたものです。

目 次

I. 委託業務成果報告

医薬品等のベネフィット・リスク評価のための医療情報データベースシステムの
品質管理及び標準化手法に関する研究

----- 1

鈴木 隆弘 (千葉大学医学部附属病院 准教授)

(資料) 件数比較結果シート、HISデータ抽出項目一覧

(資料) バイオバンク検体管理データ入力システム概要

医薬品等のベネフィット・リスク評価のための医療情報データベース システムの品質管理及び標準化手法に関する研究

業務主任者 鈴木 隆弘 千葉大学医学部附属病院 准教授

研究要旨: 医療情報を集積したデータベースシステムは医薬品等の安全対策のさらなる向上等今後の医療行政において重要なツールになることが期待されているが、データベースシステムを安全対策等に用いるには、解析手法の高度化を図ることはもちろんのこと、その前提として、解析に供するデータベースが高い信頼性を有していることが担保されている必要がある。本研究では、医療情報データベース基盤整備事業において構築した医療情報データベース（以下「MID-NET®」という。）をモデルとして、データベースの品質管理のための手法の検討及び課題整理を行い、医療情報のデータベースの品質管理に資する知見を得ることを目的とする。

研究方法: 本研究では、MID-NET の品質管理手法検討の事前準備として、病院情報システム（以下「HIS」という。）及びMID-NET の統合データソース（以下「DS」という。）からのデータ抽出方法の検討を移行中のデータを用いて行った。その後、両者のデータ件数、内容をデータ種別ごとに比較検討を行うとともに、当該比較の際の課題等を整理した。併せて各作業の工数等についても検討した。

結果: 平成25年8月分のデータを対象として、データ項目毎にHISのデータウェアハウス（以下「DWH」という。）からの抽出を行い、ID変換及び送信対象スライスを抽出したデータと、DSから抽出したデータを突合した。来院等情報や放射線実施はほとんど一致したが、データ種別によっては一致率が低いものが認められた。原因と対応方法を検討中であり、一部は既に解決することが出来た。

まとめ: 1ヶ月分のデータを用いてHISとDSの内容のバリデーションを行った。基本的な情報は一致していたが、詳細なデータでは多くの差異が認められた。移行中のデータを用いたため、原因は様々だがいくつかのパターンを見つけることが出来た。今後は検証期間を拡げてデータベース全体のバリデーションを行う必要がある。

担当責任者

鈴木 隆弘 千葉大学医学部附属病院

A. 研究目的

医療情報を集積したデータベースシステムの利活用は、医薬品等の安全対策のさらなる向上等のために重要なツールとなることが期待されているが、データベースシステムを医薬品等の安全対策等に適切に利活用するためには、解析手法の高度化を図ることはもちろんのこと、解析に用いるデータベースシステムが高い信頼性を有していることが求められる。

信頼性の高いデータベースシステムを確立するためには、複数の病院情報システム等からデータベースシステムに集積されるデータの標準化やデータベースシステムの品質管理を確実に実施するための手法を確立する必要がある。

近年はがん登録をはじめとして、様々な学術団体でデータを収集し、臨床データベースを作る動きが広まっている。しかし、これらのデータベースは各々が独自に構築しているため相互に連携がなく、項目の標準化もされていないので、同じようなデータを何度も入力する必要があるなど臨床側の負担となっている。

そこで、本研究においては、厚生労働省及び独立行政法人医薬品医療機器総合機構（以下「PMDA」という。）が実施する「医療情報データベース基盤整備事業」の協力医療機関の一つとして千葉大学医学部附属病院（以下「当院」という。）に構

築した MID-NET を用いて、データベースの信頼性を確保するためのデータの標準化と品質管理手法及び他のデータベースとの連携について検討するとともに、迅速かつ低コストでデータベースを連携する上で必要な要件、課題等について調査し、データベースシステムの品質管理に資する基礎情報とする。

B. 研究方法

データ抽出・比較等の処理については、全て千葉大学医学部附属病院内で実施する。

1. MID-NET を用いた品質管理手法検討の事前準備（病院情報システム及び統合データソースからのデータ抽出等）

MID-NET は、図 1 に示すように、当院の病院情報システム（HIS）の電子カルテ、レセプト等の医療情報の各種データについて、インターフェースサーバを介し SS-MIX 標準化ストレージに移行させ、さらに匿名化等の加工処理を加えて統合データソースに蓄積する仕組みとなっている。医療情報データベース基盤整備事業において医薬品等の安全対策のためにデータを利活用するのに際しては、この統合データソースに蓄積されたデータが解析対象となる。

MID-NET を用いた品質管理手法検討の事前準備として、当院の HIS 及び MID-NET の統合データソースからのデータ抽出手法

の検討を行い、比較検討のために必要なデータの抽出及び ID 変換等のデータ処理を行った。HIS からのデータ抽出にあたっては当院の HIS の開発・保守等を行う東芝医療情報システムズと、また、統合データソースからのデータ抽出にあたっては、PMDA と抽出条件等について協議の上、実施した。

HIS データ抽出方法

抽出データ	抽出 KEY と留意点
来院等情報（外来）	患者基本情報→来院歴データの来院日時（平成 25 年 8 月）
来院等情報（入院）	入院情報→入院歴データの入院日。
来院等情報（退院）	入院情報→入院歴データの退院日。
傷病情報（退院サマリ）	汎用記載情報の汎用記載エレメントのデータを抽出データとした。その際の条件としてフォームは「退院サマリ」で始まりかつ、日付を平成 25 年 8 月 1 日以降同年 8 月 31 日以前とした。
傷病情報（病名オーダ）	病名情報→病名データの開始日。
処方・注射情報（処方オーダ）	処方情報データ内の指示情報→処方オーダー項目より実施開始日。条件日時は分単位のため平成 25 年 8 月 1 日 0 時 00 分から 8 月 31 日の 23 時 59 分までとした。
処方・注射情報（処方実施）	処方オーダは実施入力を行っていないため検証は施行しなかった。
処方・注射情報（注射オーダ）	注射情報データ内の指示情報→注射オーダー P より投与開始予定日。条件日時は分単位のため平成 25 年 8 月 1 日 0 時 00 分から 8 月 31 日の 23 時 59 分までとした。
処方・注射情報（注射実施）	注射情報データ内の実施情報→注射情報 R P より投与開始実施日時。

	条件日時は分単位のため平成 25 年 8 月 1 日 0 時 00 分から 8 月 31 日の 23 時 59 分までとした。
検体検査情報	検体検査情報データ内の実施情報→検体検査実施より検査日時。条件日時は分単位のため平成 25 年 8 月 1 日 0 時 00 分から 8 月 31 日の 23 時 59 分までとした。
放射線検査情報	放射線検査情報データ内の実地情報→画像診断実地項目より実施開始日時。条件日時は分単位のため平成 25 年 8 月 1 日 0 時 00 分から 8 月 31 日の 23 時 59 分までとした。
生理検査情報	生理検査実地データ内の実地情報→生理検査実地項目から実施開始日時。条件日時は分単位のため平成 25 年 8 月 1 日 0 時 00 分から 8 月 31 日の 23 時 59 分までとした。
薬物血中濃度検査情報	DWH の機能では抽出出来なかったため、別途抽出方法検討を検討している。
細菌検査情報	細菌検査情報データ内の実地情報→細菌実施項目より検査日時。条件日時は分単位のため平成 25 年 8 月 1 日 0 時 00 分から 8 月 31 日の 23 時 59 分までとした。

2. データ標準化・品質管理に係る手法の検討

HIS 及び統合データソースから抽出したデータの件数、内容を適切に比較するための手法の検討を行った。PMDA の担当者と連携のもと、抽出データの突合を行い、比較を行った。

さらに、抽出データの比較等により、HIS から統合データソースにデータが移行される過程でデータの標準化処理が適切

になされているかについて確認した。

3. データ標準化・品質管理に必要な工数等の把握

上記2を当院で実施するために必要な作業に要した工数について、当院担当者及び連携して作業を行った PMDA 担当者それぞれについて調査した。

4. データベースの品質管理を適切に実施するための課題整理

当院にて MID-NET の統合データベースに蓄積するデータ等の品質管理を継続的に実施するために留意すべき事項等について整理を行った。

5. 他のデータベースとの連携に必要な課題整理

当院は特定機能病院として高度な医療を提供するだけでなく、医療情報の電子化と利活用に取り組んでいる。そこで、図2に示すように、SS-MIX 標準化ストレージ及び統合データベースに蓄積したデータと当院における他の臨床研究用のデータベースとの連携の可能性について、千葉大学バイオバンクシステムを対象として検討を行った。

特に論点となったのは匿名化 ID(セカンド ID)の取り扱いと、データの取得先及びタイミングであった。

(倫理的配慮)

本研究において、医療情報は、原則的

には個人特定情報は匿名化処理を実施して取り扱った。またそれらに近い情報も、情報の特性に応じて暗号化等、厳重な管理の下において取り扱った。また本研究においては診療等の結果たるデータのみを取り扱うことから、研究対象者に対する侵襲等は発生しないと考えるが、研究対象者の人権を侵害することがないように十分に配慮して医療情報を取り扱った。

C. 研究結果

1. MID-NET を用いた品質管理手法検討の事前準備 (HIS 及び統合データベースからのデータ抽出等)

当院のデータは現在、統合データベースに移行中であるが、蓄積されているデータのうち、平成25年8月分のデータを本研究の検討対象とした。

HIS のデータウェアハウス (DWH) から、データ種別ごとに以下の日付項目を基準としてデータの抽出を行った。

データ種別	抽出基準項目
来院等情報 (外来)	来院日時 2013年8月1日～ 2013年8月31日
来院等情報 (入院)	入院日 2013年8月1日～ 2013年8月31日
来院等情報 (退院)	退院日 2013年8月1日～ 2013年8月31日
傷病情報 (病名オーダ)	開始日 2013年8月1日～ 2013年8月31日
処方情報 (オーダ)	実施開始日 2013年8月1日 ～2013年8月31日
注射情報 (オーダ)	投与開始予定日時 2013年8 月1日～2013年8月31日

注射情報（実施）	投与開始実施日時 2013年8月1日～2013年8月31日
検体検査情報	検査日時 2013年8月1日～2013年8月31日
放射線検査情報	実施開始日時 2013年8月1日～2013年8月31日
生理検査情報	実施開始日時 2013年8月1日～2013年8月31日
細菌検査情報	検査日時 2013年8月1日～2013年8月31日

さらに、ID変換及び送信対象スライスを抽出した（以下「HIS抽出データ」という。）。なお、スライスとは、連番で振っている患者番号の、その下2桁をキーとして論理的及び物理的に分割された100個の箱（スライス）にそれぞれ振り分けて格納している処理単位である（例えば、患者プロフィールを抽出するという場合には全データの1/100のデータが最小単位となる）。

また、統合データソースからは、診療日をもとに平成25年8月のデータを抽出した（以下「DS抽出データ」という。）。HIS抽出データ及びDS抽出データは比較用IDへ変換した。

2. データ標準化・品質管理に係る手法の検討

当院のデータは、スライス毎に移行されている。そこでまず、データ比較のために基準とする項目（以下「基本キー」という。）に比較用IDを用いて突合を行った。さらに、基本キーで一致したレコードについて、追加で基準とした項目（以下「追加キー」という。）を加えて突合を行

った。

各データ種別の突合の際に用いた基本キー及び追加キー並びに突合の結果を、別紙「件数比較結果シート」に示した。

①来院等情報（外来）

- ・基本キー及び追加キーでの比較の結果、一致率は98.3%であった。HIS抽出データのみにあるデータの一部は、DS抽出データに土曜日及び日曜日のデータが存在しないことに起因することが判明した。

②来院等情報（入院）

- ・HIS抽出データとDS抽出データで診療科の異なるレコードが1件のみ存在した。

③来院等情報（退院）

- ・入院と同じくHIS抽出データとDS抽出データで診療科の異なるレコードが1件のみ存在した。
- ・HISのみに存在するIDが4名（4件）存在した。

④傷病情報（退院サマリ）

- ・退院サマリでは表記をはじめ、病名の情報の取り扱いについて違いが認められた。

⑤傷病情報（病名オーダ）

- ・病名オーダでは転帰と疑い病名フラグの転送漏れが判明した。

⑥処方・注射情報

- ・処方・注射オーダでは一致率が70%前後と低かった、用法・用量の取り扱いでHIS抽出データとDS抽出データに違いが認められ、対処方法を検討中である。

⑦検体検査情報

- ・検体検査では一致率が80%台であった。調査の結果、外注検査結果の一部がDWHか

ら抽出されないことが判明した。他にも件数は少ないものの、コードのずれや結果値が送信されていないレコードなどが認められた。

⑧放射線検査情報

・放射線検査情報については HIS 抽出データのみ ID が 6 名分 (52 件) 存在したのみで、ほぼ一致していた。

⑨生理検査情報

・ HIS 抽出データのみ ID が 45 名分 (50 件)、DS 抽出データのみ ID が 1 名分 (1 件) 存在した。

・ 消化器系の検査で HIS 抽出データのみ存在するデータが 29 件存在した

⑩細菌検査情報

・ 細菌検査では菌名の齟齬や結果値の合わないレコードが少数認められた。

・ HIS 抽出データのみ ID が 7 名分 (80 件)、DS 抽出データのみ ID が 14 名 (236 件) 存在した。

3. データ標準化・品質管理に必要な工数等の把握

今回の作業において、病院側は延べ 32 人日、PMDA スタッフは約 30 人日の工数を必要とした。

5. 他のデータベースとの連携に必要な課題整理

千葉大学バイオバンクシステムとの連携試験のために HIS からのデータ取得ソフトウェアを作成し、匿名化 ID には HIS から MID-NET への情報通信で用いるセカンド

ID を用いた。

当初は統合データソースサーバからのデータ取り込みを想定していたが、検体の取得から登録の流れを精査したところ、バイオバンクへの登録時に必要な情報を、MID-NET 用に開発したリソースを用いて HIS から取得し、検体番号とセカンド ID を紐付けて記録するのが適当と判断した。症例検索などの際には MID-NET の検索・統計機能を用いて連携を試みる。

バイオバンクシステムでは主に病理組織情報が必要とされるため、データ項目のうち、MID-NET に存在するものは 1 / 3 以下と少なかった。また、当院では DPC 及び病理システムが共に HIS と独立しているために、DWH からのデータ取得が出来ないことから、コピ&ペストを自動化するソフトウェアも併用し、ユーザーの負担軽減と転記ミスの軽減を図ることとした。今後は本運用を開始し、データ項目の追加と標準化及び連携手法についての調査を継続していく。

D. 考察

当院の HIS からのデータ抽出については既存の DWH を用いることで効率よく行うことが出来、事前準備として今回の手法は有効と考えられた。

HIS と統合データソースから抽出したデータの件数、内容の突合比較では多くの差異を検出することが出来たが、現在データ移行中であるため、それに起因した差

異が認められている可能性もある。これらの差異はデータ移行完了後に確認するとともに、更に効率的な手法を追求する必要がある。また、統合データソースへのデータ移行過程での標準化処理については他院との比較も必要である。

今回、1ヶ月分のみを検証で約60人日の工数を要した。データベース全体のバリデーションを行うためには、単純に期間の倍数ではないとしても、相当の工数を必要とすると推定される。

本研究の限界として、実施期間が短いことから、品質管理を継続的に実施するために留意すべき事項については今後の課題となった。他データベースとの連携についても、バイオバンクそのものの実運用が来年度からなので、今後も新たな課題が発見されると思われる。

E. 結論

1ヶ月分のデータを用いてHISと統合データソースの内容のバリデーションを行った。基本的な情報は一致していたが、詳細なデータでは数多くの問題点を見つけることが出来た。原因は様々であったがいくつかのパターンを見つけることが出来、一部は既に解決を得た。今後は検証期間を拡げてデータベース全体のバリデーションを行う必要がある。

F. 健康危険情報

なし。

G. 研究発表

なし。

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定も含む）

なし。

千葉大学医学部附属病院に構築されたMID-NET[®]を用いた検討

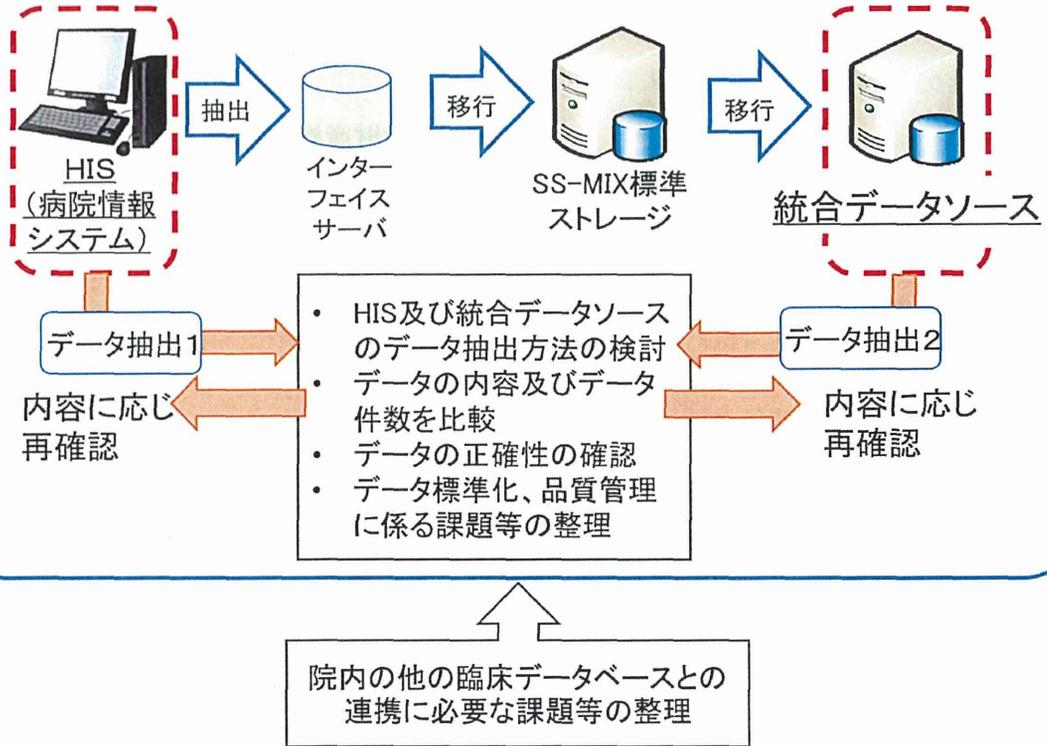


図1. 千葉大学医学部附属病院に構築されたMID-NETを用いた検討

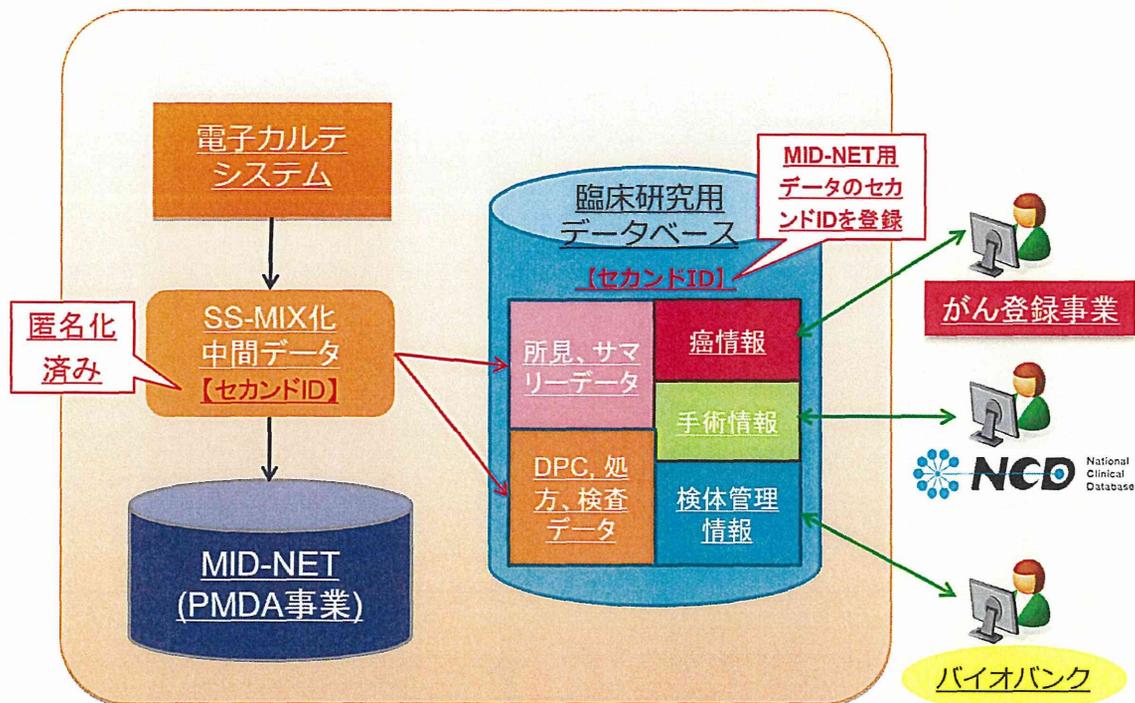


図2. 医療情報データベースシステムと臨床研究用データベースの連携方法

資料

データ比較方法

データ比較については、千葉大学医学部附属病院内で実施した。

データ項目毎に、DWHから抽出し、ID変換および送信対象スライス※の抽出を行ったデータ及びDSから抽出したデータを突合した。

なお、はじめに、基本キーのみで突合を行い、さらに、一致したレコードについて、追加キーを加え、突合を行った。

※スライス：スライスとは、連番で振っている患者番号の、その下2桁をキーとして論理的及び物理的に分割された100個の箱(スライス)にそれぞれ振り分けて格納している処理単位(例えば患者プロフィールを抽出するという場合には全データの1/100のデータが最小単位となる)。

比較に用いたDSデータについて

□過去データ移行作業終了後

■過去データリハーサル作業中のデータ(第3回目)

DSデータ抽出日:2014年12月16日

※2月中に移行作業が終了しておらず、リハーサルデータを利用した。このため、認められた件数の差分の一部については、エラーワーニング等で解決しているものも含まれる。

来院等情報(外来)	平成25年8月分	HIS	DS	一致率
基本キーで比較し一致	追加キーを加え比較し件数一致	40,363	40,363	98.3
	追加キーを加え比較し件数のみ異なる	1	2	
	追加キーを加え比較し不一致(HISのみ)	300		
	追加キーを加え比較し不一致(DSのみ)		25	
基本キーで比較し不一致(HISのみ)		404		
基本キーで比較し不一致(DSのみ)			0	
合計		41,067	40,389	

HIS基本キー	比較用ID	DS基本キー	比較用ID
HIS追加キー(1)	来院日	DS追加キー(1)	受診日
HIS追加キー(2)	診療科コード	DS追加キー(2)	診断診療科コード
HIS追加キー(3)	-	DS追加キー(3)	-

来院等情報(入院)	平成25年8月分	HIS	DS	一致率
基本キーで比較し一致	追加キーを加え比較し件数一致	65	65	98.5
	追加キーを加え比較し件数のみ異なる	0	0	
	追加キーを加え比較し不一致(HISのみ)	1		
	追加キーを加え比較し不一致(DSのみ)		1	
基本キーで比較し不一致(HISのみ)		0		
基本キーで比較し不一致(DSのみ)			0	
合計		66	66	

HIS基本キー	比較用ID	DS基本キー	比較用ID
HIS追加キー(1)	入院日	DS追加キー(1)	入院日
HIS追加キー(2)	入院時診療科コード	DS追加キー(2)	診断診療科コード
HIS追加キー(3)	-	DS追加キー(3)	-

来院等情報(退院)	平成25年8月分	HIS	DS	一致率
基本キーで比較し一致	追加キーを加え比較し件数一致	60	60	92.3
	追加キーを加え比較し件数のみ異なる	0	0	
	追加キーを加え比較し不一致(HISのみ)	1		
	追加キーを加え比較し不一致(DSのみ)		1	
基本キーで比較し不一致(HISのみ)		4		
基本キーで比較し不一致(DSのみ)			0	
合計		65	61	

HIS基本キー	比較用ID	DS基本キー	比較用ID
HIS追加キー(1)	退院日	DS追加キー(1)	退院日
HIS追加キー(2)	退院時診療科コード	DS追加キー(2)	診断診療科コード
HIS追加キー(3)	-	DS追加キー(3)	-

傷病情報(病名オーダ)	平成25年8月分	HIS	DS	一致率
基本キーで比較し一致	追加キーを加え比較し件数一致	28,598	28,598	98.2
	追加キーを加え比較し件数のみ異なる	47	37	
	追加キーを加え比較し不一致(HISのみ)	470		
	追加キーを加え比較し不一致(DSのみ)		531	
基本キーで比較し不一致(HISのみ)		2		
基本キーで比較し不一致(DSのみ)			7	
合計		29,117	29,173	

HIS基本キー	比較用ID	DS基本キー	比較用ID
HIS追加キー(1)	開始日	DS追加キー(1)	診断日(開始日)
HIS追加キー(2)	診療科コード	DS追加キー(2)	診療科コード
HIS追加キー(3)	病名	DS追加キー(3)	特殊病名等の病名テキスト情報

処方・注射情報(処方オーダー)	平成25年8月分		HIS	DS	一致率
基本キーで比較し一致	追加キーを加え比較し件数一致		7,543	7,543	82.0
	追加キーを加え比較し件数のみ異なる		2	1	
	追加キーを加え比較し不一致(HISのみ)		126		
	追加キーを加え比較し不一致(DSのみ)			402	
基本キーで比較し不一致(HISのみ)			1,531		
基本キーで比較し不一致(DSのみ)				58	
合計			9,202	8,004	
HIS基本キー	比較用ID	DS基本キー	比較用ID		
HIS追加キー(1)	実施開始日	DS追加キー(1)	処方・注射日(開始日)		
HIS追加キー(2)	薬品コード	DS追加キー(2)	医療機関ローカルコード		
HIS追加キー(3)	-	DS追加キー(3)	-		

処方・注射情報(注射オーダー)	平成25年8月分		HIS	DS	一致率
基本キーで比較し一致	追加キーを加え比較し件数一致		6,617	6,617	64.7
	追加キーを加え比較し件数のみ異なる		335	218	
	追加キーを加え比較し不一致(HISのみ)		1,021		
	追加キーを加え比較し不一致(DSのみ)			2,828	
基本キーで比較し不一致(HISのみ)			2,261		
基本キーで比較し不一致(DSのみ)				979	
合計			10,234	10,642	
HIS基本キー	比較用ID	DS基本キー	比較用ID		
HIS追加キー(1)	投与開始予定日時	DS追加キー(1)	処方・注射日(開始日)		
HIS追加キー(2)	薬品コード	DS追加キー(2)	医療機関ローカルコード		
HIS追加キー(3)	-	DS追加キー(3)	-		

処方・注射情報(注射実施)	平成25年8月分		HIS	DS	一致率
基本キーで比較し一致	追加キーを加え比較し件数一致		9,323	9,323	74.6
	追加キーを加え比較し件数のみ異なる		9	4	
	追加キーを加え比較し不一致(HISのみ)		2,406		
	追加キーを加え比較し不一致(DSのみ)			0	
基本キーで比較し不一致(HISのみ)			759		
基本キーで比較し不一致(DSのみ)				0	
合計			12,497	9,327	
HIS基本キー	比較用ID	DS基本キー	比較用ID		
HIS追加キー(1)	投与開始実施日時	DS追加キー(1)	処方・注射日(開始日)		
HIS追加キー(2)	薬品コード	DS追加キー(2)	医療機関ローカルコード		
HIS追加キー(3)	実施量	DS追加キー(3)	一回分の投薬量		

検体検査情報	平成25年8月分		HIS	DS	一致率
基本キーで比較し一致	追加キーを加え比較し件数一致		27,074	27,074	82.3
	追加キーを加え比較し件数のみ異なる		5	9	
	追加キー(3)を加え比較し不一致(HISのみ)		1,235		
	追加キー(3)を加え比較し不一致(DSのみ)			1,241	
	追加キー(1)(2)を加え比較し不一致(HISのみ)		2,289		
	追加キー(1)(2)を加え比較し不一致(DSのみ)			26,252	
基本キーで比較し不一致(HISのみ)			2,287		
基本キーで比較し不一致(DSのみ)				286	
合計			32,890	54,862	
HIS基本キー	比較用ID	DS基本キー	比較用ID		
HIS追加キー(1)	検査日時	DS追加キー(1)	検体採取日		
HIS追加キー(2)	検査種別コード	DS追加キー(2)	医療機関ローカルコード		
HIS追加キー(3)	検査結果	DS追加キー(3)	結果(変換前)		

放射線検査情報	平成25年8月分		HIS	DS	一致率
基本キーで比較し一致	追加キーを加え比較し件数一致		1,681	1,681	97.0
	追加キーを加え比較し件数のみ異なる		0	0	
	追加キーを加え比較し不一致(HISのみ)		0		
	追加キーを加え比較し不一致(DSのみ)			0	
基本キーで比較し不一致(HISのみ)			52		
基本キーで比較し不一致(DSのみ)				0	
合計			1,733	1,681	
HIS基本キー	比較用ID	DS基本キー	比較用ID		
HIS追加キー(1)	実施開始日	DS追加キー(1)	検査日		
HIS追加キー(2)	主行為コード	DS追加キー(2)	医療機関ローカルコード(第一成分)		
HIS追加キー(3)	-	DS追加キー(3)	-		

生理検査情報	平成25年8月分	HIS	DS	一致率
IDで比較し一致	追加キーを加え比較し件数一致	371	371	82.4
	追加キーを加え比較し件数のみ異なる	0	0	
	追加キーを加え比較し不一致(HISのみ)	29		
	追加キーを加え比較し不一致(DSのみ)		5	
基本キーで比較し不一致(HISのみ)	50			
基本キーで比較し不一致(DSのみ)			1	
合計		450	377	

HIS基本キー	比較用ID	DS基本キー	比較用ID
HIS追加キー(1)	実施開始日時	DS追加キー(1)	検査日
HIS追加キー(2)	検査項目名	DS追加キー(2)	院内検査名
HIS追加キー(3)	-	DS追加キー(3)	-

細菌検査情報	平成25年8月分	HIS	DS	一致率
基本キーで比較し一致	追加キーを加え比較し一致	338	338	45.6
	追加キーを加え比較し件数のみ異なる	4	3	
	追加キーを加え比較し不一致(HISのみ)	320		
	追加キーを加え比較し不一致(DSのみ)		47	
基本キーで比較し不一致(HISのみ)	80			
基本キーで比較し不一致(DSのみ)			60	
合計		742	448	

HIS基本キー	比較用ID	DS基本キー	比較用ID
HIS追加キー(1)	検査日時	DS追加キー(1)	検査日
HIS追加キー(2)	検査種別コード*	DS追加キー(2)	菌名コード(変換前)
HIS追加キー(3)	-	DS追加キー(3)	-

※抽出する項目のみ表示

抽出対象月 2013年8月

※患者情報データ項目はすべて抽出不要項目のため記載なし

来院等情報

来院歴 KEY 来院日時
 入院歴 KEY 退院日時

	2次利用での抽出可否	2次利用の抽出該当項目
診療日	○	患者基本情報(来院歴)
患者ID	○	患者基本情報(来院歴)
オーダーNo		
入院日	○	入院歴
受診日	○	
退院日	○	入院歴
死亡年月日	○	
診断診療科コード	○	入院歴(入院時診療科コード)

傷病情報(退院サマリ)

汎用記載?

鈴木先生対応

	2次利用での抽出可否	2次利用の抽出該当項目
診療日	○	患者基本情報(来院歴)
患者ID	○	患者基本情報
オーダーNo		
退院日	○	入院情報(入院歴)
診療科コード	○	入院情報(入院歴)(退院時診療科コード)
診療科名	○	入院情報(入院歴)
入院・外来	○	患者基本情報(来院歴)?
標準傷病名コード	○	病名情報(病名コード)
ICD10病名コード	○	
医療機関ローカルコード		
特殊病名等の病名テキスト情報	○	病名情報(病名)
確定・疑いコード	×	
確定・疑い	×	
主病名フラグ		
主病名	○	病名情報(病名)
転帰コード		
転帰名	○	病名情報(病名)
転帰日	○	病名情報(病名)

傷病情報(病名オーダー)

	2次利用での抽出可否	2次利用の抽出該当項目
診療日	○	患者基本情報(来院歴)
患者ID	○	患者基本情報
オーダーNo		
診断日	○	入院情報(入院歴)
診療科コード	○	入院情報(入院歴)(退院時診療科コード)
診療科名	○	入院情報(入院歴)
入院・外来	○	患者基本情報(来院歴)?
標準傷病名コード	○	入院歴(入院時診療科コード)

ICD10病名コード	○	病名情報(病名)
医療機関ローカルコード		
特殊病名等の病名テキスト情報	○	病名情報(病名)
確定・疑いコード	×	
確定・疑い	×	
主病名フラグ		
主病名	○	病名情報(病名)
転帰コード		
転帰名	○	病名情報(病名)
転帰日	○	病名情報(病名)

処方情報(オーダー)

注射情報(オーダー)

注射情報(実施)

	2次利用での抽出可否	2次利用の抽出該当項目
診療日	○	患者基本情報(来院歴)
患者ID	○	処方情報(処方オーダー)
オーダーNo	○	処方・注射のオーダー
処方・注射日(開始日)	○	処方・注射情報(処方オーダー・実地)
終了日	○	処方・注射情報(処方オーダー・実地)
診療科コード	○	処方・注射情報(処方オーダー・実地)
診療科名	○	処方・注射情報(処方オーダー・実地)
入院・外来	○	オーダー入外区分
HOTコード	○	薬品コード?
医療機関ローカルコード		
処方期間		
処方期間単位		
一回分の投薬量		
一回分の投薬量の単位コード		
一回分の投薬量の単位		
一日当たりの投薬量		
一日当たりの投薬量の単位コード		
一日当たりの投薬量の単位		
投与経路コード	○	注射オーダーのライン?オーダーRPのルー
投与経路	○	注射オーダーのルート?オーダーRPのルー
用法コード(変換前)	○	注射オーダーRPの用法コード?
用法(変換前)	○	注射オーダーRPの用法名?

検体検査情報(実施)

	2次利用での抽出可否	2次利用の抽出該当項目
診療日	○	患者基本情報(来院歴)
患者ID	○	検体検査情報(処方オーダー)
オーダーNo	○	検体検査情報
検体採取日	○	検体検査情報(実施開始日)
診療科コード	○	検体検査情報
診療科名	○	検体検査情報
入院・外来	○	" (オーダー入外区分)

JLAC10コード		
医療機関ローカルコード		
院内検査名	○	検体検査情報
採取終了日	○	
施設基準上限		
施設基準下限		
基準値単位コード		
基準値単位		
基準値との比較		
結果(変換前)	○	検体検査情報(実施)
結果単位(変換前)		
結果単位コード(変換前)		

放射線検査情報(実施)

	2次利用での抽出可否	2次利用の抽出該当項目
診療日	○	患者基本情報(来院歴)
患者ID	○	放射線検査情報(実施情報)
オーダNo	○	放射線検査情報(実施情報)(オーダID)
検査日	○	// 実施開始日
診療科コード	○	
診療科名	○	
入院・外来	○	
医療機関ローカルコード		
病院独自検査名		検査項目名

生理検査情報(実施)

	2次利用での抽出可否	2次利用の抽出該当項目
診療日	○	患者基本情報(来院歴)
患者ID	○	生理検査情報実施
オーダNo	○	生理検査情報実施(オーダID)
検査日	○	// 実施開始日
診療科コード	○	生理検査情報(実施)
診療科名	○	生理検査情報(実施)
入院・外来	○	生理検査情報(実施)
院内検査名	○	生理検査情報(実施)検査項目名

薬物血中濃度検査情報(実施)

→項目としてはない。検体実施検査から検査項目で

	2次利用での抽出可否	2次利用の抽出該当項目
診療日	○	患者基本情報(来院歴)
患者ID		
オーダNo		
検査日		
診療科コード		
診療科名		
入院・外来		
医療機関ローカルコード		